

漫湖水鳥・湿地センター

たよい

2006年9月10日発行

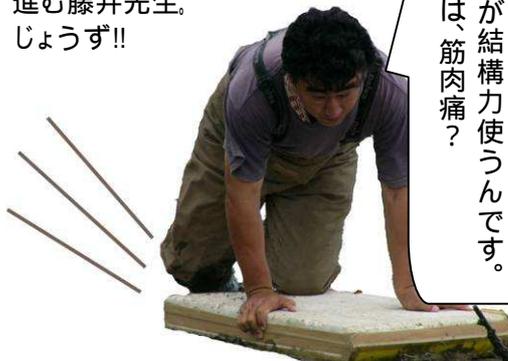
No.38



漫湖水鳥・湿地センターの
夏休み
後半

夏休み自由研究企画 泥の中の生き物探し!!

潟スキーに乗って、泥の上を
進む藤井先生。
じょうず!!



これが結構力使ってます。
明日は、筋肉痛?

8月13日(日)、講師に藤井晴彦先生(森の家みんな)を迎え「泥の中の生き物探し!!」を行いました。

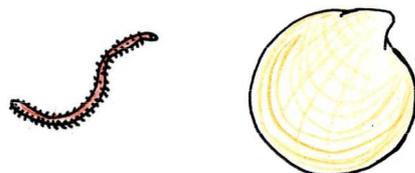
さて、どうやって泥の中の生き物を探すのか? 一歩進むにもはまってしまふ泥の中にくりだすために使うものは、「潟スキー」です。潟スキーにうまく体重を乗せながら進んでいきます。見本を見せてくれた藤井先生は「スー」と気持ちよさそうに干潟を進んでいきますが、参加者がやってみると、うまく

進みません・・・それでも、なんとか岸から20mほど奥まで行くことができました。

まず、泥をさわってみます。岸近くの泥は、臭くて、砂が混じりジャラジャラしていましたが、奥の泥は匂いもほとんどなく、トロトロで、さわっているととても気持ちがいい泥です。そして、静かに周りを見渡すと、無数のヒメヤマトオサガニがハサミを振っています。少し泥を掘ると中から貝殻が出てきました。20m進んだだけでこれだけ環境が変わることに驚いてしまいました。半分に切ったペットボトルに泥を入れて、また、ゆっくり岸に戻りました。

センターに帰り、ザルに泥を入れ、水で流し、泥の中にいる生き物を探しました。出てきたのは、ゴカイ・ハゼの仲間などです。岸近くで取ってきた泥の中からは、シオマネキ・テッポウエビ・ドロアワモチなどが見つかりました。

普段は見ることのない泥の中に住む生き物を探してみようと、始めて企画した観察会でした。20m進んだだけで変わる環境、トロトロの気持ちいい泥の感触、はじめてみる生き物、ドロドロになって遊ぶこと・・・すべてが一生の思い出になる観察会だったと思います。



上:潟スキーに乗って干潟を進む参加者 左:出てきた生物を観察する参加者

夏休みアート教室 鳥の絵を描こう!!

8月20日(日)、講師に宮城アケミ先生(漢那小学校教頭)を迎え、鳥の絵を描く講座を行いました。

好きな色の画用紙を選んで描き始めます。「鳥の卵を二つ描きましょう!!」宮城先生に教えてもらった通り、自分の書きたい鳥がどんな鳥の卵に似ているのか考えながら描きました。中には、頭と体の間に長い首があるサギの仲間を描く参加者もいましたが、上手に2つの卵をつないで、鳥の形になりました。



「たまごを2つ描きましょう!!」
指導して下さった宮城先生



上:下書きをする参加者。
右:台紙に貼って完成です!!



次に、絵の具を塗りました。1枚1枚の羽を丁寧に描いていきます。

始まってから2時間、全員鳥の絵が完成しました。こんな短時間でこんなにステキな絵がなぜ描けるのだろう?と不思議になってしまいます。勢いづいて、2枚目を描き始める参加者も...

講座に参加した方は、夏休みの宿題にすばらしい鳥の絵が完成していることと思います。

幼児向け観察会 カニと遊ぼう!!

8月27日(日)、講師に鹿谷法一先生、麻夕先生(しかたに自然案内)を迎え、カニの観察会を行いました。

今までの観察会は、参加対象を小学生以上としていましたが、「幼稚園児も参加させてほしい!!」との声が多く、はじめて、幼児向け(4歳~3年生)の観察会を実施しました。

集まってきた子どもたち、中には1週間も前からこの日を待ち望んでいた子もいたようです。

鹿谷先生からカニの見方についての説明があった後、干潟に向かいました。

はじめは、少しカニが怖かった参加者もいたようですが、少しすると保護者も含め全員カニを追いかけるのに夢中です。幼稚園児もカニを捕まえることができ、大満足の笑顔を見せてくれました。

最後は、鹿谷先生の「みんなには、捕まえたカニを飼うことは難しいから、逃がしてあげようね。会いたいときは、ここに会いに来れば、またカニに会えるよ!」とのお話で、カニを干潟へ放しました。(放したカニをまた捕まえる子もいましたが...別れ惜しかったんですね。)



「こんなカニがいるよ」 法一先生



干潟でカニの説明をする麻夕先生



「カニ捕まえたよ!!」



トントンミークラブ



先月号でも速報としてお知らせしましたが、この夏、漫湖やセンターをより楽しんでもらおうと「トントンミークラブ」を開催しました。

トントンミークラブは、子どもたちが気軽に参加できるように「無料」「当日受付」で、8月中の毎週金曜日、13～16時に行いました。参加人数は、なんと延べ136名!!そのうち、全4回すべてに参加した子どもたちが8名いました。

漫湖の生き物について、身近な自然についていろいろな発見ができたね!!

8月4日

メニュー：匂い当てゲーム・芝生で拾いものトントンミーつかみ・顕微鏡でなんでものぞいちゃお!!

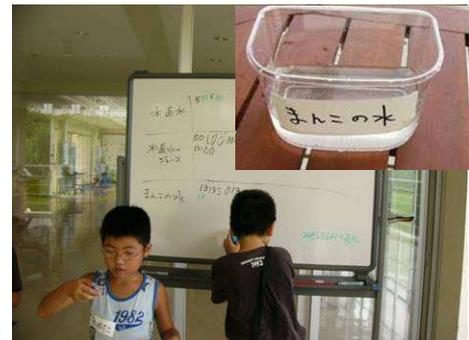
8月11日

メニュー：はっぱっぱ・トントンミーつかみ・顕微鏡でなんでものぞいちゃお!!・ラインゲーム



8月18日

メニュー：マングローブクイズ
漫湖の水質調べ
おめんづくり



8月25日

メニュー：鳥のブローチ





夏休み!! ボランティアさん 大活躍!!

盛りだくさんだった夏休み中の行事、無事終わられたのは、ボランティアさんの大活躍があってこそです。本当にありがとうございました!! 今回は、ボランティアさんに活動の感想を綴ってもらいました。

『昆虫標本をつくろう!!』のボランティアに参加して 与那嶺 涼子

「センターの講座で初めて昆虫標本を作る！」そんな、参加者が多かったかもしれません。

私もその一人です。講座の前にあった予行演習で初めて作りました。その為、講座当日は「手順は覚えているか？自分が補助なんてできるのか？」と不安ばかり浮かんでいました。

そして、講座が始まると、私の不安をよそに参加者は講師の説明通りに黙々と作業を進めていきました。

途中、子供が針で指を刺してしまったり、カミキリムシの体が硬すぎて針が通らずへこたれる子供もいました。中には、虫の翅や脚の位置にこだわりがあるようで納得のいくまで作業を終わらせない子、子供よりも熱いお父さんもいたりしました。

講座中、私は、補助らしい事はできませんでした。参加者の真剣で楽しげな顔を見て、きちんと役目を果たさなければ!!と思いました。



左: 標本作りを参加者に教えるためボランティアみんなで練習しました。写真は、与那嶺さん。

中央: 標本作り本番で、参加者に指導する金城さん、練習の成果を発揮!!

右: 泥の生き物の観察会で参加者が乗ったガタスキーを押す岩崎さん、ドロドロで体力仕事…ありがとうございました。

『トントンミークラブ』に参加して 天野 正晴

8月の毎週金曜日に行われていた『トントンミークラブ』。そのなかでボランティアとして、最初の二回に参加させてもらいました。多くの子供たちが、初めてやることに好奇心の目を向けていて、子供って本当にすごいな、と思いました。特にトントンミーつかみの時は「捕まえていいの？」と目を輝かせて聞いてきて、こちらも嬉しくなりました。ただ子供たちにトントンミーの説明するのは難しく、知識不足の僕の説明で彼らに伝わったのか、という反省点もあります。でも、そんなことより

も少しでもトントンミーを、そして自然を身近に感じてくれればいいのかと思い、子供たちの一生懸命に、時にはぶつぶつ文句を言いながらスケッチしている姿を見ていました。

ぜひこれを機会に子供たちには、もっともっと外に出てみて自分の五感でいろいろなものを見て欲しいと思います。町の中でもいろんなことが起こっていて、きっと自分だけの素敵な発見があると思うので。



左: トントンミークラブの受付をする岩崎さんと天野さん。

中央: トントンミークラブで「トントンミーつかみ」を実施する天野さん。子どもたちに大人気でした。

漫湖水鳥かわら版 38

～ 8 月 日々変わる姿～

8 月	羽数	先月との比較
ダイサギ	15	
チュウサギ	11	
コサギ	12	
アオサギ	7	
ミサゴ	1	
バン	1	
シロチドリ	4	
メダイチドリ	2	
オオメダイチドリ	3	
ムナグロ	24	
ダイゼン	2	
キョウジョシギ	1	
トウネン	55	
サルハマシギ	3	
アカアシシギ	5	
アオアシシギ	11	
キアシシギ	58	
イソシギ	5	
ソリハシシギ	17	
ダイシャクシギ	3	
ホウロクシギ	1	
チュウシャクシギ	7	
クロハラアジサシ	4	
カワセミ	1	
合計	253	

8 月

先月よりも種類・数ともに増え、干潟に賑わいが戻ってきました。

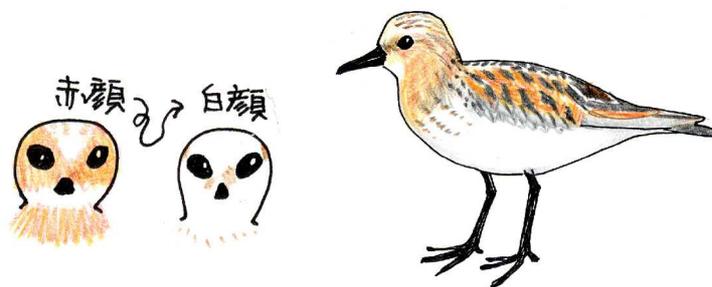
多かったのが、トウネン(55 羽)とキアシシギ(58 羽)です。9 月は、どんな鳥がやってきてくれるかな？楽しみです。

8 月 6 日、8 月 26 日 トウネン

8 月 6 日、赤い顔をしたトウネンを見つけました。夏羽のきれいな姿で干潟を歩いています。

それから数日後、15 日には 46 羽のトウネンがいました。赤顔のトウネンは半分くらい、後は白い顔をしています。8 月 26 日は、白い顔のトウネンが多くなりました。

換羽が進み冬羽に近づいているのか、渡りで鳥が入れ替わっているのかわかりませんが、日々変わる颜色を観察するのが楽しくなりました。



8 月 24 日 サルハマシギ

夏羽の褐色が目立つシギを見つけました。サルハマシギです。少し冬羽に移行しているのか、腹の褐色に白い羽が混じっているようでしたが、とてもきれいな姿で感動しました。

8 月 24 日・27 日 クロツラヘラサギ情報!!

7 月下旬から姿が見えなかったクロツラくん、いったいどこに行っただろう？と心配になっていたところ、目撃情報が入りました。いたのは、なんと名護市の汀間川です。直線距離で 60km 弱もあるようです。その後、27 日にも同じ場所で目撃されています。さて、今後どのような動きをするのでしょうか？



8 月 27 日 汀間川にて
写真提供:小禄健人くん

絵画・作文コンクール

ポスター キッチフレーズ しめきり 間近!!



「第3回漫湖作文コンクール」「題4回漫湖絵画コンクール」およびセンターの「キッチフレーズ」を募集しています。

締め切りが9月30日となっていますので、お早めにご応募ください。

たくさんのご応募お願いいたします!!

ご応募・お問い合わせは下記まで

漫湖水鳥・湿地センター

TEL:098-840-5121 FAX:098-840-5118

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982

ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ



団体利用

学童・児童クラブ	地域
礼邦学童	那覇市
保育園・幼稚園	
さつき幼児学園	那覇市
大学・専門学校	
沖縄中央学園	沖縄市
医療・福祉関係	
フレンドリーあいわ	那覇市
その他	
与那原東小学校職員研修	与那原町
九州地区高校地理研究会	
宜野湾スイミングスクール	宜野湾市
ガールスカウト10団	豊見城市

総入館者数
67,247 名

8月は、2,424 人の方が
来館されました。

毎日、子どもたちのにぎやかな声が絶えないセンターでした。

8月の入館者数
2,424 名
(うち団体 227名)

編集後記

夏休み がんばる母さん 自由研究
多数のご来館ありがとうございました!!



広川 ヨシ子

< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 (環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) >

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日) 年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http:// www.geocities.jp/manko_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)